

花苗ワンポイントアドバイス

第1回

ペチュニア

早春から花壇を飾る定番の植物です。配布する品種は、耐暑性にも優れ、花弁が厚く、降雨にも強い痛みにくいタイプです。

植え付け時に、肥料を適量与え、定期的に補充することが、綺麗に咲かせるコツです。咲き終わった花がらをマメに取り除き、過湿を避けて土が乾いてから水を与えるようにしてください。

ガザニア

春から秋まで長い期間にわたりくっきりとした花びらを咲かせ、植木鉢や花壇を明るく彩ってくれる多年草の花です。高温多湿の環境を苦手とするため、夏の猛暑日が続いたり、雷雨などによって湿気が高くなると枯れる原因となります。梅雨～夏にかけての湿気が高くなるシーズン前には、混み合った茎枝を間引き、風通しをよくしておくといいでしょう。

ニチニチソウ

日当たりのよい場所を好みます。泥がつくと病気になりやすくなります。

肥料を多く欲しがり、植え付け時に少し多めに与えてください。

過湿を嫌い、多少の乾燥には強いですが、アブラムシがつくとモザイク病になりやすくなりますので、害虫防除が大切です。

マリーゴールド

早春から、晩秋の花壇を飾る花です。非常に強い植物で、乾燥、過湿に強く、やせた土地にも根付いてくれますが、肥料を適量与えてやれば、旺盛に成長してくれます。

病気が付くことはあまり無く、アブラムシがよく付きます。殺虫剤で駆除してください。又、菜園に植えておくと、線虫除けにもなります。